

## 令和3年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和3年9月22日(水) 16:00 ~17:15

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 9 名：笹良剛史（豊見城中央病院）、野里栄治（北部地区医師会病院）、屋良尚美（県立中部病院）、中島信久（琉大病院）、中村清哉（琉大病院）、安次富直美（琉大病院）、足立源樹（那覇市立病院）、朝川恵利（宮古病院）、増田昌人（琉大病院）

欠席者 4 名：三浦耕子（県立中部病院）、酒井達也（八重山病院）、喜屋武隆也（沖縄県健康長寿課）、名嘉眞久美（がん患者会連合会）

陪席者 1 名：有賀拓郎（琉大病院）

### 報告事項

#### 1. 令和3年度 第1回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

資料1に基づき、令和2年度第4回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨について報告があった。

屋良委員より、協議事項2.「今年度の事業計画について」に関して中島委員・有賀先生・増田委員で打合せを行うとの事だったが、進捗があったか質問があり、増田委員から日程調整を行う予定と回答があった。

協議事項5.「PCU 転院相談の際の相談外受診ならびに転院までの所要日数に関する情報の一覧作成について」中部病院では参考にしてしていると屋良委員より報告があった。

協議事項6.「2021年度 地域緩和ケア連携調整員研修 募集周知について」と7.「2021年度 都道府県指導者養成研修(緩和ケアチーム研修企画)ならびにフォローアップ研修」について、屋良委員より、研修を行っているところはあるかと琉大病院、那覇市立病院へ質問があったが、両病院とも不明とのことだった。→後日、琉大病院にて連携調整員ベーシックコースの研修を行うチームが1つある事が確認できた。

#### 2. 令和3年度 緩和ケア・在宅医療部会, 在宅WG, 研修WG 委員名簿

資料2に基づき、令和3年度 緩和ケア・在宅医療部会, 在宅WG, 研修WG 委員名簿が承認された。

#### 3. 令和3年度 緩和ケア研修会開催日程一覧表 延期・開催方法について

資料3の令和3年度 緩和ケア研修会開催日程一覧について報告があった。屋良委員より、八重山病院は中部病院と共催予定と報告があった。中村委員より、琉大病院は病院長の判断で9月18日(土)の日程から延期になったが、今年度中にWEB方式で開催予定と連絡があった。

屋良委員より、他にWEB開催をされているところがあるのかと質問があり、他県の大学で2~3カ所ZOOMを使用し研修会を行っている中村委員より回答があった。屋良委員より、中部病院は研修会の申込者が増えたため、2回開催する可能性があるとの報告があった。決定している11月13日(土)の参加者は21名予定との事だった。

#### 4. 令和3年度 緩和ケア・在宅医療部会 第1回・第2回在宅ワーキング 議事要旨

資料4の令和3年度 緩和ケア・在宅医療部会 第1回・第2回在宅ワーキングについては次回確認することとなった。

#### 5. 令和3年度 緩和ケア・在宅医療部会 第2回研修ワーキング 議事要旨

資料5の令和3年度 緩和ケア・在宅医療部会 第2回研修ワーキング議事要旨については次回確認することとなった。

6. 第3回 日本緩和医療学会九州支部学術大会について

資料6に基づき、第3回 日本緩和医療学会九州支部学術大会について笹良委員より報告があった。プログラムは査読が終わり次第、最終的なものをWEB上にアップすると緩和医療学会から発信いただくとのこと。参加費について、会員は無料、非会員も九州沖縄大会は1000円となっている。委員の皆様にはケアカフェのファシリテーターとしてご協力いただきたいとのことだった。

7. 令和3年度 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-FIELD)開催日程について

資料7に基づき、令和3年度 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-FIELD)開催について笹良委員より報告があった。募集は締め切っており、県内での応募情報が入り次第共有しますとのこと。開催日程が延期になった琉球大学病院の緩和ケア研修会と重なってしまうのか懸念しているとのことだったが、増田委員より2年目の研修医の先生方の意見を聞きながら重ならないように日程調整していくと回答があった。

8. その他

特になし

**協議事項**

1. PCU転院相談の際の相談外来受診ならびに転院までの所要日数に関する情報の掲載について

資料8に基づき増田委員より現在の運用について説明があった。拠点病院、診療病院等約30病院の院長宛、琉大病院内は各診療科の科長宛に広報している。

各病院の運用状況等についてまとめると下記となる。

病院	運用状況	その他
北部地区医師会病院 (野里委員)	不明	中南部の希望は少ないと思う
県立中部病院 (屋良委員)	参考にしている	ケースワーカーさんに喜んでもらっている
琉球大学病院 (有賀先生)	常に見ているわけではない	担当者間で都度決めている
那覇市立病院 (足立委員)	不明	
県立宮古病院 (朝川委員)	希望者がいる場合参考にしている	本島の病棟希望者少ない

中島委員より、元々は中部地区の複数の病院のソーシャルワーカーさんから相談を頂いたものだが、1年以上前に話が出たので、これからの案件も含めてもっと円滑に進めて頂きたい。また、病院長に報告しただけでは現場の人には話が伝わっていないのもう少し広報のやり方を考えた方がよいと意見があった。増田委員より、他にどのように広報をしたら良いのか委員

の皆さんに相談したいとの事だったが、野里委員より北部地区医師会病院については連携室が知っているのもこれで良い、また中部病院でも現在活用できているので大丈夫ですと屋良委員より返答があった。増田委員より、毎週更新した方が良いかと質問があり、屋良委員より毎週更新して頂ければ助かるとのことだった。

屋良委員より、各病院について、連携室の方で現在どのように活用しているのか次回までに情報収集をお願いしますとの事だった。

## 2. 緩和ケアマップの更新・新規掲載について

増田委員より、資料9の緩和ケアマップの更新・新規掲載について説明があった。更新の不足や新規未掲載について皆様より指摘を受けたが、新規掲載を依頼したところ緩和ケアマップへの掲載を希望しない施設もあった。有賀先生より、掲載したくない理由は何か聞いているかと質問があり、後日事務の方から回答しますと増田委員より返答があった。→アンケート形式で「掲載する」「掲載しない」の二択にしたため、掲載しない理由についてはお伺いしていません。（三井）

屋良委員より、中部病院では、中部病院の在宅緩和ケアマップを作った時に終末期を含めて緩和ケアの視点で主に関わっているところ、たくさんある訪問看護ステーションの中から特にそういう意味で関わっているところを厳選して上がってきたところは、少ないなあと考えた。やりとりを十分行っている訪問看護ステーションは少なかった。やり取りと相互の理解のために勉強会を2か月に1度訪問看護ステーションから訪問看護師さんにおいで頂いて、勉強会を行っていた。WEBでは開催してなくてコロナ禍において開催が途絶えているのですが、そういうやり取りをしている所だけ厳選し挙げていた。これを開いた時にそれ以外の訪問看護ステーションがちらちら載っているなと思ったのだが、現況報告で報告している緩和ケアマップを載せているのかな？と思っているのですが…と質問があり、増田委員より、もちろんマップなのですが、内容が「訪問看護ネット沖縄」の方が多く、こちらには載せたくないというところがいくつかあったものでこの充実をどうしていくか。また、こちらの把握数があまりにも少ないため「訪問看護ネット沖縄」もご活用下さいと文言を載せたと回答があった。

## 3. 次回令和3年度第3回緩和ケア・在宅医療部会の日程について【ロジックモデル検討】

増田委員より、新型コロナの影響で沖縄県の保健医療部の業務量が多くなり、今回仕事の見直しが行われた。沖縄県のがん計画の中間評価については、最悪の場合中間評価は行われな  
い、または意見集のみの作成となる可能性がある。そのため皆さんの意見を集約して増田委員から県へ提出したいとの事で、1時間ほど中間評価についてお時間を頂きたいとの事。後日日程調整します。